

ものが変化するスピードがますます加速する現代。
そんな中でも言葉のもつ力は変わりません。
人と人、心と心、人と社会をつなぐ言葉。
子供たちが言葉の力を信じ、言葉によって未来を切り開いていくために、
私たちは「国語」の教科書にできることを追究しました。
七十年以上もの間、言葉の力を伝え続けてきた光村図書。
そんな私たちだからこそ提案できる新しい国語教科書をお届けします。

今、 言葉に できることの すべてを。

令和七年度版 中学校『国語』



国語力を高める ― 課題を発見し、解決する言葉の力を

これからの時代に求められる「国語力」とは、「課題を発見し、解決するための言葉の力」だと、光村図書は考えます。それが確実に身につくよう、学習の手引きを一新しました。「読むこと」「教材だけでなく」「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材でも、この構成は共通なので、領域を超えて能力を育み、生かすことができます。

「読むこと」教材の「学びの扉」(学習の手引き)構成

「自分の学習の調整」のヒントとなる言葉

「学びのカギ」で示された学習を焦点化して示す。

評価規準は三観点(小中共通)
・知識・技能
・思考・判断・表現
・主体的に学習に取り組む態度

学習の流れ・中心がひと目でわかる

学びへの扉

文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にしてまとめよう。[学習活動]
●筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。(知る)
●文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。(読む)

1 文章の構成と内容を捉えよう。

- ① 次の内容がどの段落に述べられているか、考えながら読もう。
② 筆者が立てた仮説
③ 仮説の検証 1 (一つ目の実験とその結果)
④ 仮説の検証 2 (二つ目の実験とその結果)
⑤ 結論
⑥ ⑦ が書かれている段落を読み、筆者が、どのような事実を基に、どのような仮説を立てたかを簡潔にまとめよう。

2 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考えよう。

- ① 検証 1 と 2 について、次の観点で読み取り、表にまとめよう。
② 検証の目的 ③ 検証の方法 (〇〇して、□□ならば、……)
④ 実験・観察の手順 ⑤ 結果 ⑥ 結果に対する解釈・考察
⑦ なぜ「仮説の検証 2」を行う必要があったのかを考えよう。
⑧ この文章の構成や展開の効果を根拠を明確にしてまとめよう。

3 文章を読んで、考えたことを話し合おう。

筆者の検証方法や結論には説得力があるかどうか、話し合おう。

- 振り返る
- 知る □ この文章で示された事実は、筆者の意見とどのような関係にあるか。
 - 読む □ この文章の構成や展開には、どんな効果があったか。
⇒ 「〇〇を根拠とすること」という言葉を使って述べてみよう。
 - つなぐ □ 仮説を検証する形で自分の意見を述べることを効果を挙げてみよう。

1 年 p136-137 「『言葉』をもつ鳥、シジウカラ」 手引き

学習の全体像と中心がひと目でわかる構成になっています。

黄色で強調した部分は、左ページの「学びのカギ」に示されたその教材で身につけたい資質・能力について、焦点化して学ぶ学習過程を示しています。

左右のページで役割機能を分割したため、紙面上でもわかりやすく、タブレット端末で表示する際にも一面で完結するようなレイアウトになっています。

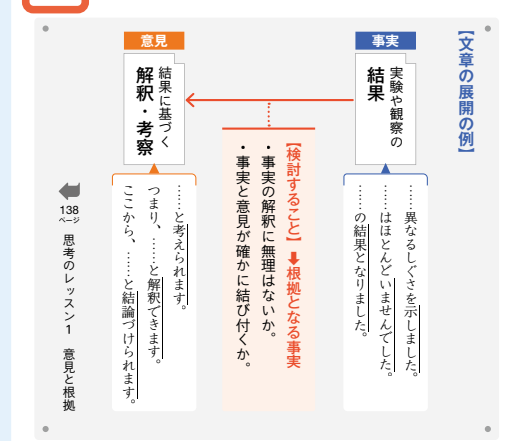
学習のポイント(資質・能力)を図解で整理

137 筋道を立てて ●「言葉」をもつ鳥、シジウカラ

185 ページ 目的に応じた要約
137 ページ 構成や展開の効果
51 ページ 文章の構成
45 ページ 段落の役割

学びのカギ 構成や展開の効果を考える

その事実は、意見を支えているか。
●意見を述べる文章では、筆者が客観的な事実を根拠として意見を主張したり、仮説の検証を経て得た確かな事実を基に考えを述べたりすることが多い。
●文章の構成や展開に説得力があるかを判断するには、根拠となる事実の解釈や、意見との結び付きに問題がないかを検討するようい。



次に挙げた言葉の意味や使い方の違いを考えよう。
① 仮説・仮定・予想
② 検証・証明・裏づけ

学びのカギ

汎用的な学習のポイント(資質・能力)を、図解で整理しました。

- 1 一年間で学ぶ資質・能力を、タブで一覧できます。
- 2 資料編「学びのカギ」一覧、QRコンテンツ「学びの地図」(本誌P5)で、**学びのカギ**を検索し、既習の資質・能力を主体的に活用できます。

学びのカギ

(資質・能力)で、**学びへの扉**(課題)を解決し、集めた「カギ」を学びの中で活用する。これを繰り返すことで、実生活に生きる課題解決の力を育みます。

また、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の三領域を通して**学びのカギ**の構造は共通しているので、領域を超えて学びの系統やつながりが見えるようになります。

個別最適な学びへー多様なQRコンテンツで、一人一人の学びに寄り添う

生徒一人一人の興味・関心や課題に応じて、自由に選択し、学校でも家庭でも活用できるQRコンテンツを収録しました。学びたいことに合わせて取り組めるコンテンツは三学年合計で350点以上。新しい試みとして、全国学力・学習状況調査で導入予定のCBT (Computer Based Testing) 形式の問題など、デジタル端末上に直接書き込めるコンテンツも多数収録しています。

表現テーマ例集

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材に収録されています。生徒一人一人が、自分に合ったテーマを見つけるサポートをします。



作者・筆者インタビュー動画

作品が生まれた背景や、文章に込めた思いなどを語る書き手自身の声、表情に接することで、作品への興味がいっそう深まります。



学びの地図

各教材の「学びのカギ」(本誌P3)を一覧にしました。“これまで”の学びを“これから”の学びに生かします。



「文法への扉」ワーク

デジタルの特性を生かしたワークで、文法の基礎・基本を楽しく身につけられます。



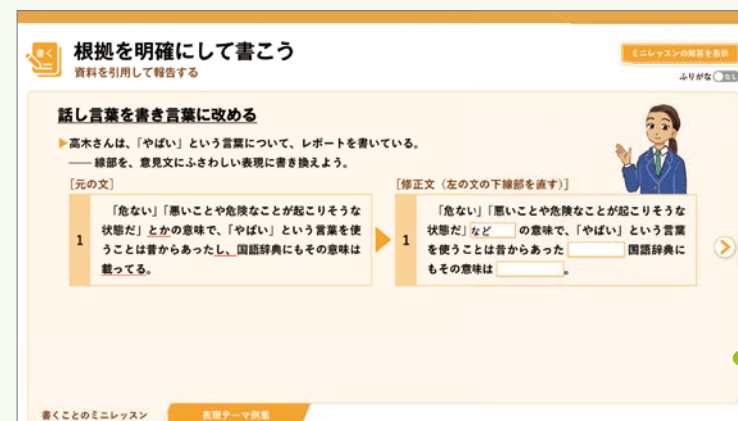
国語の力試し

各学年の巻末に掲載している領域別の確認問題「国語の力試し」に対応したQRコンテンツです。教科書掲載の問題と発展問題にCBT形式で取り組み、資質・能力が身についたかを確認することができます。自己採点をすることで、生徒自身が「何ができたか/課題は何か」を把握し、自らの学習の調整に生かすことができます。



書くことのミニレッスン

「書くこと」教材には、テキスト入力形式で解答できる練習問題を収録しました。書くことが苦手な生徒も、教材のポイントや文章上達のコツを短時間で押さえられます。授業の導入だけでなく、家庭学習でも活用できます。



1年



2年



3年

QRコンテンツ一覧はこちら



ICT活用ヒント
各学年の後見返しには、学習の中でQRコンテンツやICT機器を活用すると効果的な場面を、一覧で示しています。
また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材では、タブレット画面やアイコンで、ICT機器の活用方法や活用イメージをわかりやすく示しました。

ICT活用ヒント

語彙力を高める — 言葉の感性を磨き、思考力・表現力を培う

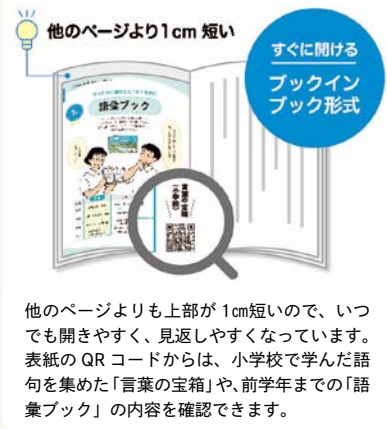
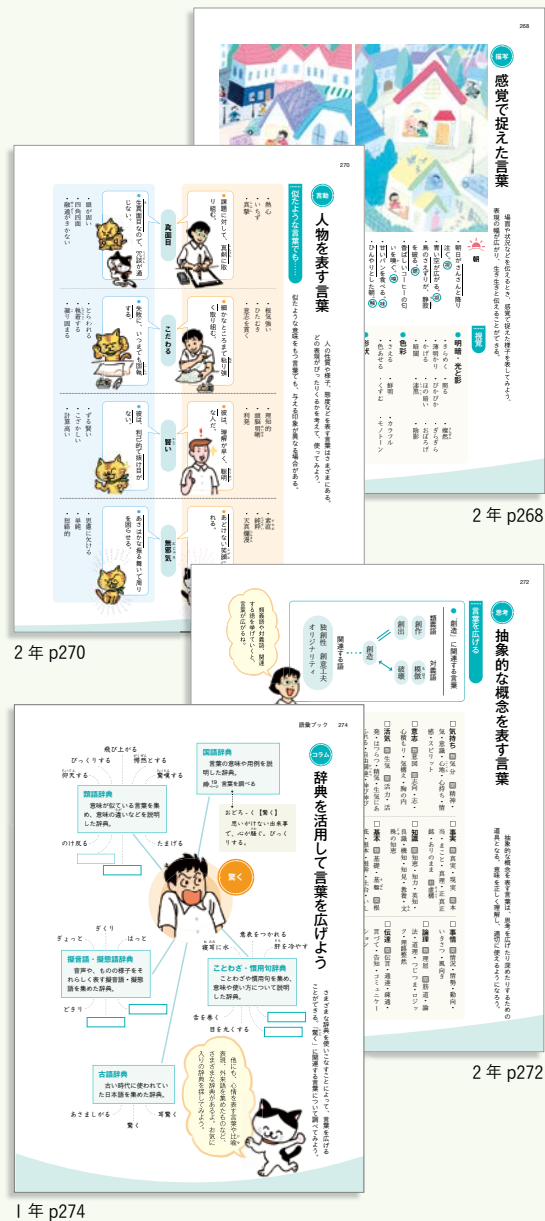
語彙力は、全ての学びにおいて、また、社会生活を営むうえで重要な力です。多くの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するために、そして言葉を通じて人や世界とつながるために、子供たちの語彙力を高める教材を用意しました。

語彙ブック

たくさんさんの言葉に出会い、自分の思いや考えにぴったりの表現を見つけるための新教材を、各学年の巻末に設けました。

「知っている言葉」を「使える言葉」にできるように、言葉を系統的に整理し、用例やイラストとともに文脈の中で学ぶ形にしています。

すぐに開けるブックインブック形式なので、本編の教材と行き来しながら活用できます。

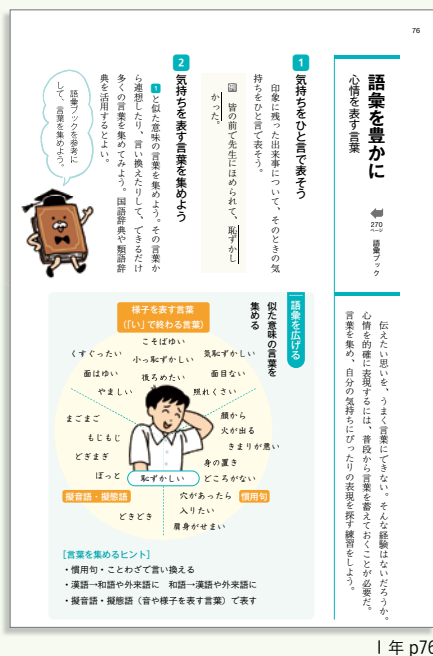


他のページよりも上部が1cm短いので、いつでも開きやすく、見返しやすくなっています。表紙のQRコードからは、小学校で学んだ語句を集めた「言葉の宝箱」や、前学年までの「語彙ブック」の内容を確認できます。

系統	1年	2年	3年
描写	情景を表す言葉	感覚で捉えた言葉	心の動きを表す言葉
言動	心情・行為を表す言葉	人物を表す言葉	慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語
思考	思考するときの言葉	抽象的な概念を表す言葉	批評するときの言葉
コラム	辞典を活用して言葉を広げよう	結び付きに着目して言葉を広げよう	言葉と私

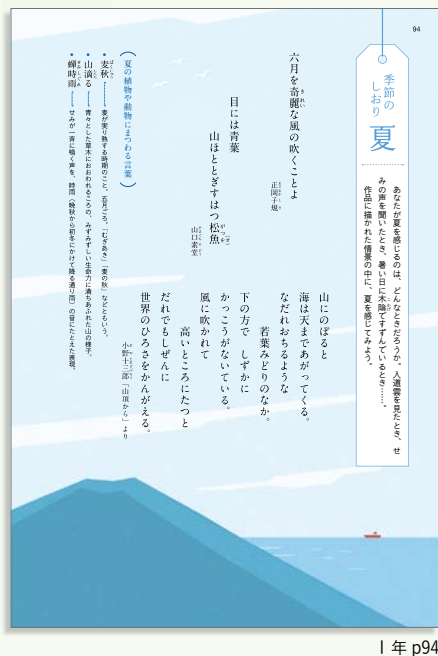
語彙を豊かに

主体的に語彙を広げ、語感を磨くための教材を各学年に位置づけました。語彙力を高める方法を具体的に示しています。



季節のしおり

言葉への感性を育むために、四季折々の言葉や詩歌を厳選し、挿絵とともに紹介しています。



言葉の葉ポケット

「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、学習内容に応じた話型・文型を、「読むこと」領域では、「言葉」を切り口にした設問を豊富に紹介しています。



言葉を味わう

日本語の豊かさに触れる場として、中扉に「動きを表す言葉(1年)」「色の名前(2年)」「時を表す言葉(3年)」を紹介しています。



「読むこと」教材一覧

価値ある教材は、生徒の心を動かし、充実した対話を生みます。生徒が感じ、考えたことを自由に伝え合い、多様性に目を開く。そんな国語の授業を支えます。

説明的な文章

多様な情報や他者の考えを正確に把握して自分の意見を持ち、課題解決の力を身につける

視野を広げる		論理の吟味		価値の創造	
1年	2年	3年	1年	2年	3年
新しい視点で ダイコンは大きな根？ 説明 稲垣栄洋 ちよっと立ち止まって 説明 桑原茂夫	多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る 報告 沼田英治	視野を広げて 作られた「物語」を超えて 論説 山極寿一	筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジユウカラ 記録 鈴木俊貴	論理を捉えて モアイは語る——地球の未来 論説 安田喜憲	複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う 論説 真鍋淑郎・伊勢武史・堅達京子
言葉に立ち止まる 比喻で広がる言葉の世界 解説 森山卓郎 情報×SDGs 情報収集の達人になろう 新 新	情報×SDGs デジタル市民として生きる 新 解説 坂本旬	言葉とともに 言葉の釣り糸を垂らす 新 随筆 いしいしんじ	価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 意見 川上浩司	価値を語る 君は「最後の晚餐」を知っているか 評論 布施英利 「最後の晚餐」の新しさ 解説 藤原えりみ	価値を生み出す それでも、言葉を 新 評論 鷲田清一
資料編 幻の魚は生きていた 中坊徹次	資料編 未来へ向かって アラスカとの出会い 随筆 星野道夫 二つの悲しみ 杉山龍丸	資料編			

文学的な文章

一人一人異なる、多様な解釈を交わし合うことで、他者に出会い、自分を見つける

1年	2年	3年
朝のリレー 言葉に出会うために 野原はうたう 学びをひろく 言葉に立ち止まる 空の詩 三編 新 詩 谷川俊太郎 詩 工藤直子 物語 蜂飼耳 詩・解説	見えないだけ 詩 牟礼慶子 広がる学びへ アイスパラネット 小説 椎名誠 言葉と向き合う 短歌に親しむ 短歌・解説 栗木京子 短歌を味わう 言葉の力 随筆 大岡信 人間のきずな ヒューマノイド 新 小説 伊坂幸太郎 字のない葉書 随筆 向田邦子	世界はうつくしいと 詩 長田弘 深まる学びへ 握手 小説 井上ひさし 言葉とともに 俳句の可能性 俳句・解説 宇多喜代子 俳句を味わう 俳句 状況の中で 挨拶——原爆の写真によせて 詩 石垣りん 故郷 小説 魯迅／竹内好訳
心の動き 大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 小説 安東みきえ 物語 米倉齊加年 小説 大阿蘇 詩 三好達治 自分を見つめる 少年の日の思い出 小説 ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳 二十歳になった日 新 随筆 さくらももこ はくが ここに 新 詩 まど・みちお 資料編 坊っちゃん 夏目漱石／夏目漱石の生涯	聴きひたる 月夜の浜辺 表現を見つめる 走れメロス 鍵 新 詩 中原中也 小説 太宰治 詩 茨木のり子 資料編 盆土産 形 菊池寛／菊池寛の生涯	聴きひたる 初恋 未来へ向かって 温かいスーパ 律儀な桜 新 随筆 今道友信 わたしを束ねないで 詩 新川和江 初日 新 詩 池田瑛子 資料編 高瀬舟 森鷗外／森鷗外の生涯

読書

——一冊との出会いから、時代や国境を超えた未知の世界に触れる喜びを知る

1年	2年	3年
あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 四百年のスローライフ 新 はやぶさ2 最強ミッシェンの真実 新 瀬尾まいこ 梨木香歩 渡辺佑基 津田雄一	星の王子さま サン＝テグジュペリ／内藤濯・池澤夏樹訳 父と話せば 新 六千回のトライの先に 新 吉藤オリイ 温又柔	羊と鋼の森 天、共に在り 新 極夜行 新 宮下奈都 中村哲 角幡唯介

デジタル教科書・教材

デジタルならではの機能とコンテンツで、個別最適な学び・協働的な学びをサポートします。また、インクルーシブ教育を実現する道具としての活用や、先生方の授業準備等の負担軽減も可能にします。

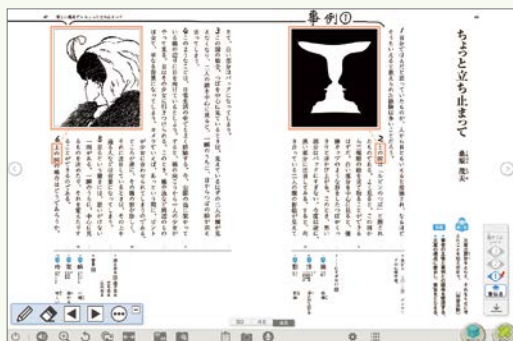
学習者用デジタル教科書＋教材

（★印は「＋教材」のみの機能となります。）

「どうぐ」ツール

段落の中心となる文にマーカーを引いたり、付箋を貼ってポイントを書いたりするなど、多様な書き込み機能を使うことができます。

書き込みを消すことも簡単なので試行錯誤しやすく、学習の記録を手軽に残すことができます。



紙面表示のカスタマイズ

振り仮名の表示や文字色・背景色の変更、機械音声による読み上げなど、教科書へのアクセスを助ける機能を多数搭載しています。

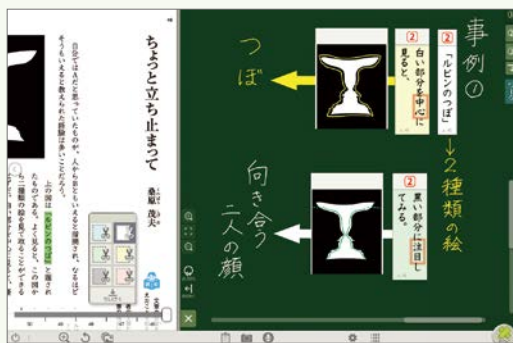
生徒一人一人の見え方・聞こえ方に応じてカスタマイズできるので、支援を要する生徒にも有効です。



マイ黒板★

読むこと教材の本文や挿絵・写真を抜き出し、カードに配置することができ、文章を書き写す負担を軽減し、考える時間を生み出します。

自分の考えを視覚化し、友達と対比することで、新しい気づきや学びが生まれます。



「振り返る」ポートフォリオ★

各教材の「振り返り」を学習ログとして蓄積し、一覧できます。蓄積した「振り返り」は、領域ごとに集約されるので、「自分の学びの調整」を生徒に促し、新たな学びへつなげます。

指導者用デジタル教科書とも連携できます。

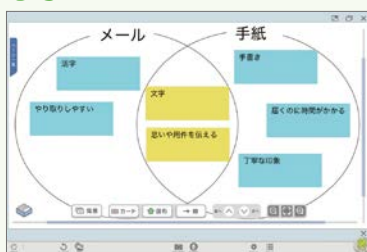


学習の目的や習熟度に応じて活用できる多様なコンテンツ★

動かしたり書き込んだりできる、デジタルならではのワーク資料を多数収録しました。

生徒一人一人が学習の目的や習熟度に応じて取り組めるよう、多様な形式・レベルの問題を用意しています。

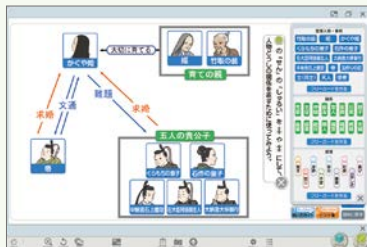
思考ツール



暗唱ワーク



人物関連図作成ツール



指導者用デジタル教科書（教材）

指導に役立つコンテンツやダウンロード資料などを多数収録しています。多彩なコンテンツは、生徒の学習意欲を高めたり、教材への理解を深めたりするのに役立ちます。また、先生の授業準備の負担を軽減し、授業づくりを支えます。

作者・筆者インタビュー



資料動画・写真



板書提示用スライド



「振り返る」ポートフォリオ



提出

クラウドで連携

閲覧・コメント

『「振り返る」ポートフォリオ』では、生徒が学習ログとして保存・蓄積した「振り返り」を、先生の端末から閲覧したり、生徒へコメントを送信したりすることができます。

